

# より良い有田市をめざして ～市民と協働によるまちづくりの創造～



来年度の本市の方向性を示す羅針盤ともいえますので、しっかりと議論を重ねています。予算編成の柱としまして重点項目を4点掲げています。大きなまちづくりで申し上げますと防災・減災対策や本市の特性を生かしたまちの誇りに繋がる施策、さらには未だ芽を生むべく、平成26年度という新規は予算の数字となつて反映され、

この語源「草木張り月」が転じたとあります。この時期、本市では新年度という新たな生活に直結する各種施策やまちづくりを担う人づくりに伴う教育予算、市民協働で創造性を高めますと防災・減災対策やまちづくり予算が柱となります。行政を運営する全ての事業にはこの予算の裏づけが必要となり、これまで政策の種をまいり、そんな強い思いの入れば予算で業績豊かなものが予算編成の佳境を迎えております。市民編で、しっかりと政策は予算の数字となつて反映され、

成の背景としてございます。職員はその使命感を持つて全力でこれにあたるということは、当然であります。市長の皆さんにも「まちづくりの主役は自分」という強い思いを共有・共感しながら大きな一步をともに踏み出したいと考えております。

その取り組みのひとつとして、今月22日には「参加者が主役」のシンポジウムを開催します。会場内はこれまでとは違った空間を創造し、その中で皆さん方が日頃感じているまちに対する思いを立場を超えて、自由に意見交換をするというコンセプトです。また、市の広聴事業の一環として今月より、市内8地区においたまちづくり懇談会を開催します。いざれも人と人とのつながりを大切にし、それぞれが望み描いていい思いをどのようにどのようにして形あるものに創造していくかが鍵となります。それが望みをしっかり考えられる機会になればと思っています。まさしく市民協働による新たなまちづくりのモデルを有田市から全国に発信していく、そんな熱い思いと冷静な頭で一歩一歩地道ではありますが、夢の実現という実を掴みたいと思っております。

有田市長 望月良男

地域・ひと・まちづくりシンポジウム 有田市×じゃらんリサーチセンター

## 『わいわい がやがや』 あがらのまちをみんなで考えてみよう会

「こんなまちにしたいなあ～」

「こんなふうなまちになったらいいのになあ～」

って考えたり、おしゃべりしたりすることってありますよね。

そんなわがまちへの憧れや思いをありのまま語り合ってみませんか？

そんな中から「憧れを抱くまち」への第1歩を踏み出し、「ありたい未来」の扉を開けてみませんか？

皆さんの思いを共有・共感し、仲間を増やしてみませんか？

会議ではありません！参加者皆さんのが主役のグループで意見交換する場です。

【問】秘書広報課(内線203)

■日時／2月22日(土) 午後1時～6時

■場所／文化福祉センター



気楽な気持ちで、憧れのまちに向けて、みんなでお話しましょう！  
皆さん、ぜひご参加ください。

※事前申込が必要となりますので、参加ご希望の方は秘書広報課までご連絡ください。

広告 市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

